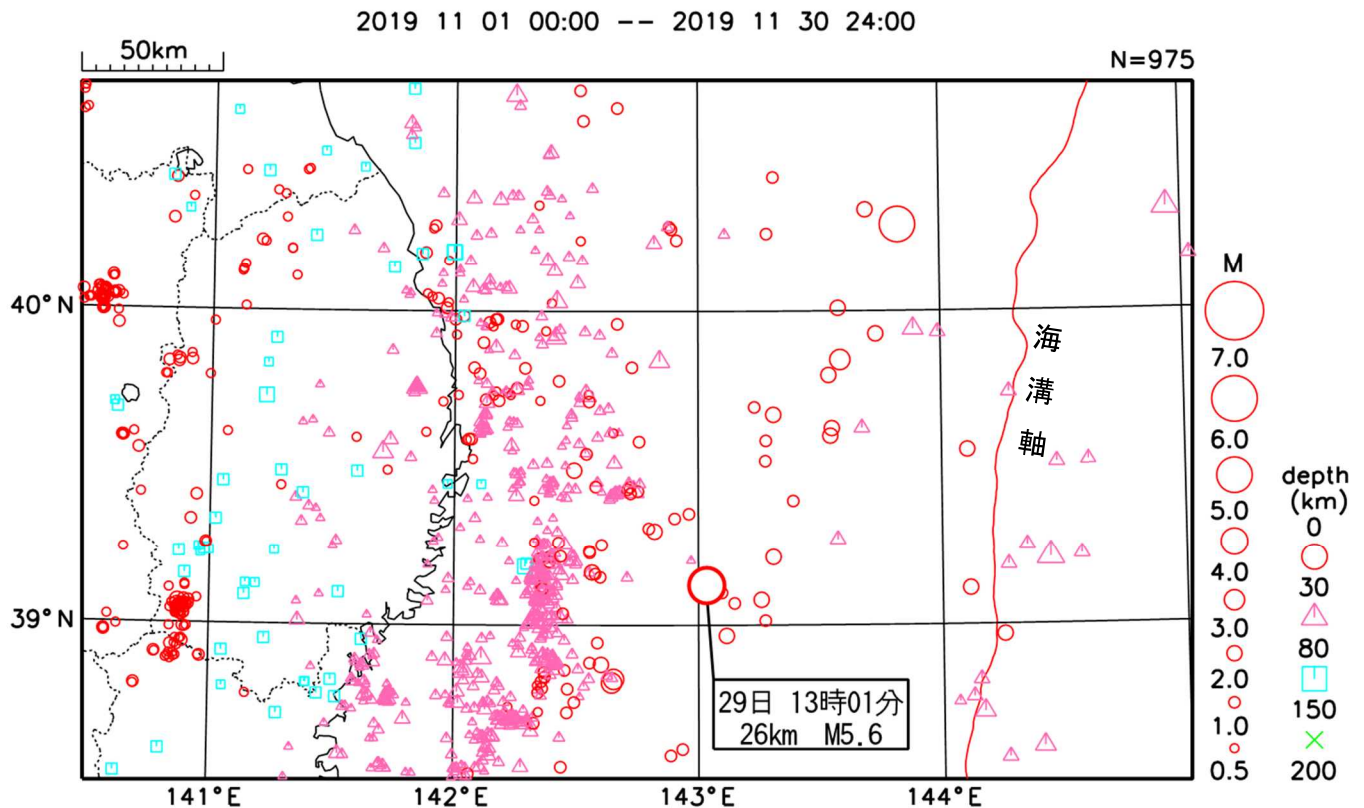


岩手県月間地震概況

2019 (令和元) 年 11 月

盛岡地方気象台

震央分布図



※吹き出しをつけた地震は概況でふれたものである。

【概況】

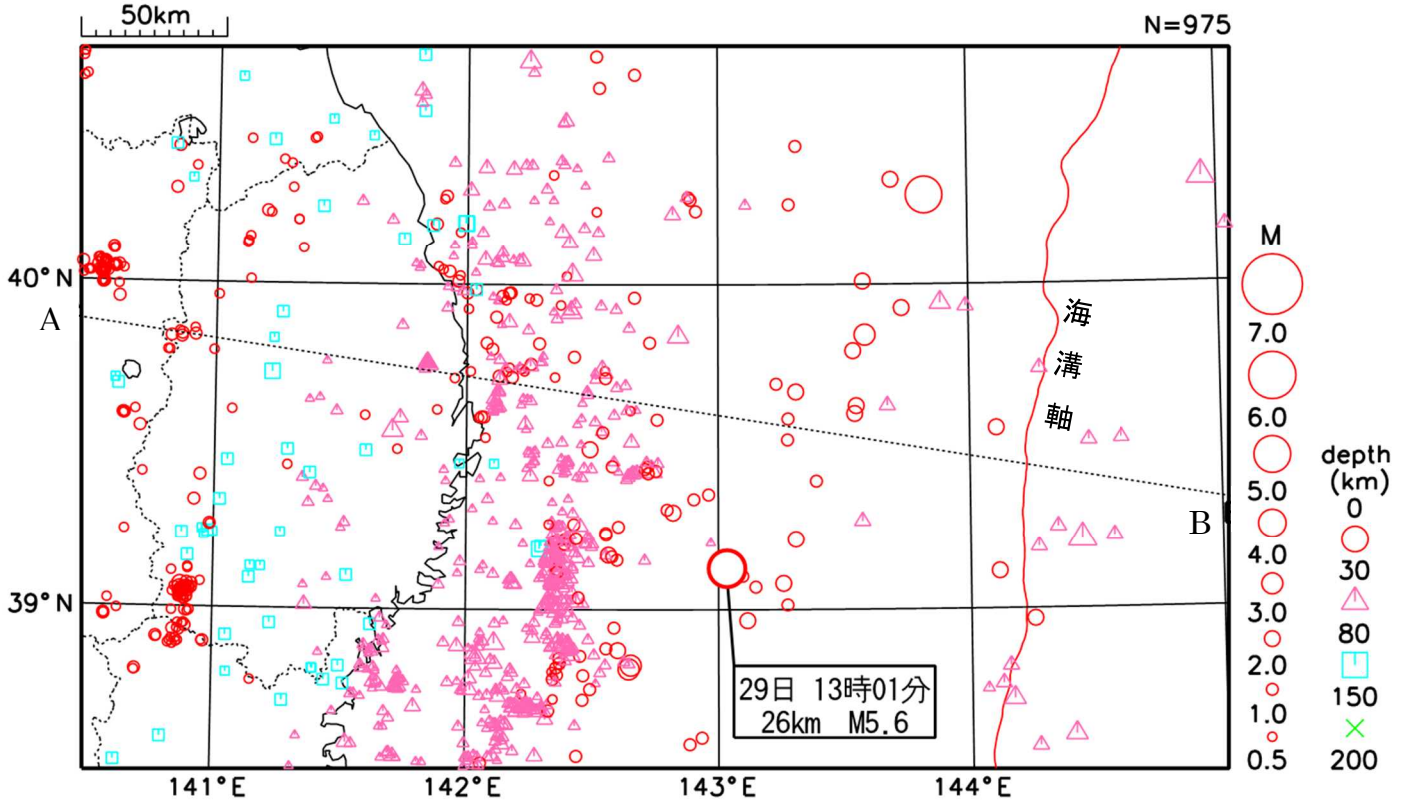
今期間、図の範囲内で観測した地震は975回(先月1012回)、岩手県内で震度1以上を観測した地震は15回(先月13回)であった。

29日13時01分に三陸沖の深さ26kmでM5.6の地震が発生し、岩手県と宮城県で震度3を観測したほか、東北地方と関東地方の一部で震度2～1を観測した。県内では、盛岡市と普代村で震度3を観測したほか、ほぼ全域で震度2～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

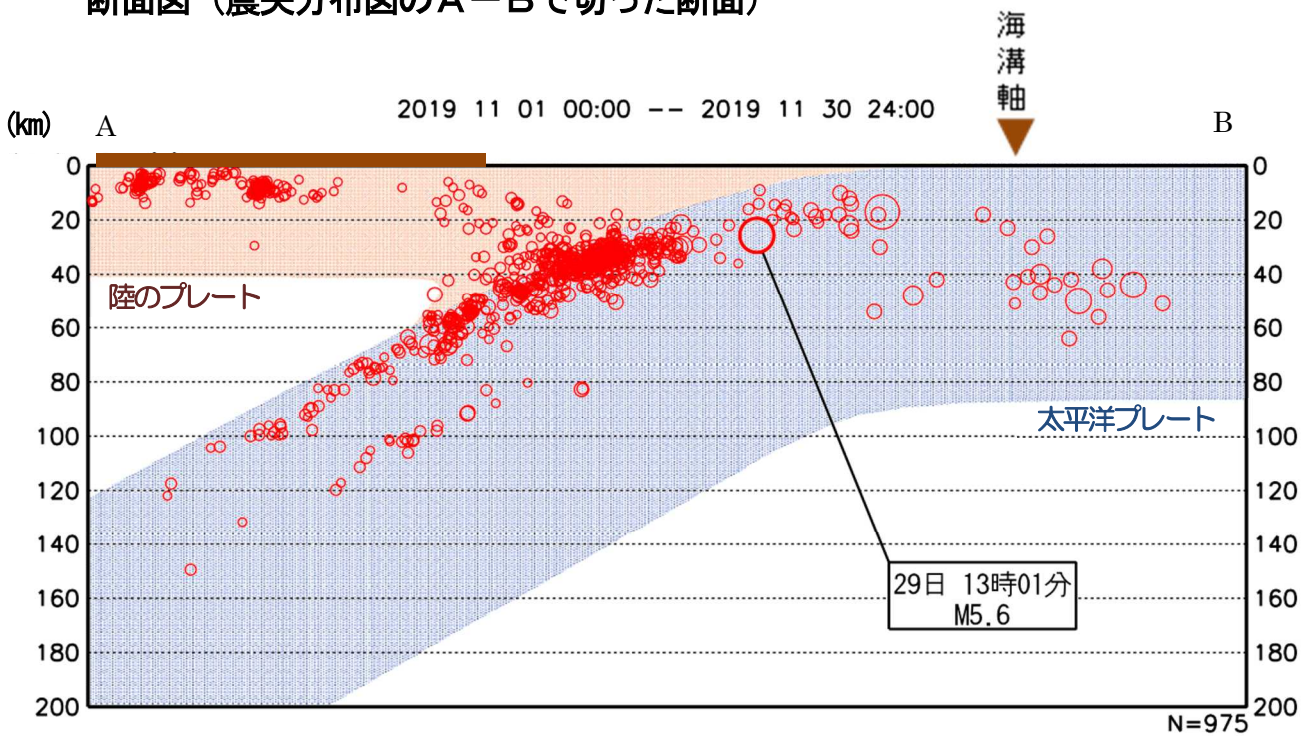
【注】各地の震度の詳細については、「岩手県で震度1以上を観測した地震」の表を参照。なお、使用した震源要素等は再調査により変更することがある。

震央分布図

2019 11 01 00:00 -- 2019 11 30 24:00



断面図（震央分布図のA-Bで切った断面）



※陸地から遠く離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど震源の深さ精度は良くない。断面図で見られる沖合の地震の震源は、実際にはより浅いところ（深さ10~30km）のものが多くと考えられる。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

岩手県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2019年11月1日～2019年11月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2019年11月02日14時13分	宮城県沖	38° 51.1' N	142° 02.5' E	45km	M3.6
岩手県	震度 1	：一関市千厩町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*			
2019年11月03日00時33分	宮城県沖	38° 27.6' N	142° 14.2' E	28km	M4.3
岩手県	震度 1	：大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町 釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 盛岡市薮川* 北上市柳原町 北上市相去町* 遠野市青笹町* 一関市大東町 一関市竹山町* 一関市花泉町* 一関市千厩町* 一関市東山町* 一関市室根町* 一関市藤沢町* 金ヶ崎町西根* 平泉町平泉* 奥州市前沢* 奥州市胆沢* 奥州市衣川*			
2019年11月03日12時30分	宮城県北部	38° 53.1' N	141° 39.5' E	66km	M3.3
岩手県	震度 1	：一関市大東町 一関市千厩町* 一関市東山町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*			
2019年11月03日14時02分	福島県沖	37° 17.9' N	141° 46.6' E	42km	M5.0
岩手県	震度 1	：野田村野田* 大船渡市大船渡町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 盛岡市薮川* 矢巾町南矢幅* 花巻市石鳥谷町* 北上市相去町* 遠野市青笹町* 一関市大東町 一関市花泉町* 一関市千厩町* 一関市東山町* 一関市室根町* 一関市藤沢町* 平泉町平泉* 奥州市前沢* 奥州市衣川*			
2019年11月06日22時16分	宮城県沖	38° 18.9' N	141° 51.3' E	46km	M4.2
岩手県	震度 2	：一関市千厩町*			
	震度 1	：大船渡市猪川町 釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 盛岡市薮川* 北上市柳原町 北上市相去町* 一関市大東町 一関市花泉町* 一関市東山町* 一関市室根町* 一関市藤沢町* 奥州市前沢*			
2019年11月07日07時03分	青森県東方沖	40° 55.4' N	142° 41.8' E	21km	M4.5
岩手県	震度 1	：盛岡市薮川* 二戸市浄法寺町* 八幡平市田頭* 軽米町軽米*			
2019年11月09日16時20分	宮城県沖	38° 10.4' N	141° 40.5' E	51km	M3.8
岩手県	震度 1	：釜石市中妻町* 住田町世田米* 一関市千厩町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*			
2019年11月13日19時22分	岩手県沿岸北部	39° 45.3' N	141° 50.5' E	58km	M3.5
岩手県	震度 2	：遠野市青笹町*			
	震度 1	：宮古市川井* 宮古市区界* 宮古市田老* 宮古市茂市* 田野畑村田野畑 普代村銅屋* 住田町世田米* 盛岡市薮川* 盛岡市渋民* 葛巻町葛巻元木 葛巻町消防分署* 八幡平市田頭* 花巻市大迫総合支所* 一関市室根町*			
2019年11月16日18時16分	宮城県沖	38° 18.5' N	141° 54.4' E	64km	M4.0
岩手県	震度 2	：住田町世田米* 一関市花泉町* 一関市千厩町* 一関市藤沢町*			
	震度 1	：大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町 陸前高田市高田町* 釜石市只越町 釜石市中妻町* 北上市相去町* 一関市大東町 一関市竹山町* 一関市東山町* 一関市室根町* 一関市川崎町* 金ヶ崎町西根* 平泉町平泉* 奥州市前沢* 奥州市胆沢* 奥州市衣川*			
2019年11月19日18時39分	青森県東方沖	40° 41.2' N	142° 14.9' E	45km	M3.6
岩手県	震度 1	：軽米町軽米*			
2019年11月22日01時29分	宮城県沖	38° 23.4' N	142° 05.5' E	33km	M3.8
岩手県	震度 1	：釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 一関市室根町*			
2019年11月23日21時58分	北海道東方沖	43° 37.0' N	147° 10.7' E	34km	M5.4
岩手県	震度 1	：盛岡市薮川*			

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2019年11月24日01時22分	岩手県沿岸北部	39° 32.9' N	141° 42.3' E	66km	M3.3
岩手県	震度1 : 盛岡市藪川*				
2019年11月28日18時23分	宮城県沖	38° 42.0' N	141° 47.7' E	52km	M2.8
岩手県	震度1 : 一関市室根町*				
2019年11月29日13時01分	三陸沖	39° 07.5' N	143° 02.0' E	26km	M5.6
岩手県	震度3 : 普代村銅屋* 盛岡市藪川*				
	震度2 : 宮古市田老* 野田村野田* 盛岡市山王町 盛岡市洪民* 岩手町五日市* 八幡平市大更 八幡平市田頭* 八幡平市野駄* 矢巾町南矢幅* 紫波町紫波中央駅前* 滝沢市鶉飼* 花巻市材木町* 花巻市東和町* 遠野市青笹町* 一関市花泉町* 一関市千厩町*				
	震度1 : 宮古市鉄ヶ崎 宮古市長沢 宮古市五月町* 宮古市川井* 宮古市区界* 宮古市茂市* 久慈市川崎町 久慈市枝成沢 久慈市長内町* 山田町八幡町 山田町大沢* 岩手洋野町種市 大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町 大船渡市盛町* 陸前高田市高田町* 釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 盛岡市馬場町* 二戸市福岡 二戸市浄法寺町* 雫石町千刈田 雫石町西根上駒木野 葛巻町葛巻元木 一戸町高善寺* 軽米町軽米* 花巻市大迫町 花巻市石鳥谷町* 北上市柳原町 北上市相去町* 遠野市宮守町* 一関市竹山町* 一関市室根町* 一関市藤沢町* 金ヶ崎町西根* 平泉町平泉* 西和賀町川尻* 西和賀町沢内川舟* 奥州市水沢大鐘町 奥州市水沢佐倉河* 奥州市江刺* 奥州市前沢* 奥州市胆沢*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は岩手県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

冬の地震災害に備える！

冬に地震が起きると、他の季節より被害が大きくなりやすいといわれています。この原因として、冬は暖房など火の使用によって火災が発生しやすいこと、積雪の影響で家屋の倒壊が発生しやすいことが挙げられます。また、路面の凍結や吹雪などにより避難路の確保や移動に時間がかかりますし、ライフラインがストップした場合を考え、自宅や避難所、車の中などにおける寒さ対策も必要になります。今回は、冬に地震が発生した場合の備えについて紹介します。



①雪に備える

積雪の多い地域では冬になると屋根に雪が多く積もるので、地震の揺れによる落雪や、雪の重みにより家が損壊・倒壊する危険性が高くなります。屋根の雪下ろしはできるだけこまめに行いましょう。

地震だけに限らず、災害発生時の避難路確保のため、玄関先だけでなく、窓や通用口付近もこまめに除雪しておきましょう。

また、崖などの急傾斜地ではなだれが発生しやすくなるなど、冬は他の季節と比べて危険が増えます。普段から雪崩等が発生しそうな箇所を点検しておき、地震発生時にはすぐにその場から離れる・近づかないようにしましょう。

②火災に備える

冬はストーブなどの火を使う暖房器具等を使用する家庭が増えます。また、空気が乾燥し、風の強い日も多くなるなど、他の季節と比べて火災発生危険性が高くなります。

しかし、大きな地震が発生した場合、火を使う器具を止めている余裕はありません。無理に器具を止めようとする事により、自分の身を守る行動が取れなくなることも考えられます。そのため、万が一火事起きたときに初期消火が出来るように、日頃から消火活動の訓練をすることが大切です。最近の火を使う器具は、振動を検知して自動的にガスや灯油の供給を止め、消火する機能が備わっているものが多くなっています。ご家庭の器具にそのような機能が備わっているか、きちんと動作するかなど、定期的に点検・確認しておくことも大切です。

また、電気が復旧する際に電気製品などがショートすることにより火災が発生することがあります。避難する時には必ずブレーカーを落としましょう。

③寒さに備える

地震によって電気やガスなどのライフラインがストップし、エアコンやファンヒーター等の暖房器具が使えなくなることが考えられるので、寒さをしのぐ手段が重要となります。石油ストーブ等のライフラインに依存しない暖房器具を準備されることをおすすめします。

また、避難が必要となった場合の道中やその後の避難生活でも必要となりますので、防寒着はもちろんのこと防寒シート・毛布・使い捨てカイロなどを用意しておくことも大切です。

自然災害の発生を止めることはできませんが、事前の備えや緊急時の対応がしっかりできれば、災害を最小限に食い止めることはできます。屋根や家の周りのこまめな除雪、水や食料の確保、寒さへの備えなど、いざという時のために、まずは出来ることから始めましょう。